

2012年10月施行「障害者虐待防止法」 みんなで準備シリーズ最終回

## ケアの本質 ～あなたのケアはホンモノですか？～

長く冷たい冬もようやく終わりを告げ、暖かな春の到来を予感させる3月となりました。

今回も事例から紹介します。

今年に入ってからのことです。



生活介護事業所に通所されているAさんが「お母ちゃんに叩かれている。」という、ご本人の一言から、家庭内で母からの暴力があるかも知れないことが分かりました。

最近のAさんは、事業所内で他の利用者の頭を叩くことが頻繁に起こったり、きつい言葉を投げかけることが多くなり、支援者は「以前はなかったのに、どうしたのか」と思っていたと言います。

事業所では、最近のAさんの事業所での様子を伝えることと、家庭での様子を伺うために訪問しました。その中で、お母さんから「何度言っても聞かないので、いけないと分かっているけど、ついつい手が出てしまったり、怒鳴ったりしてしまうのです。」と、泣きながら話をされました。

実は、Aさんの家庭では、お父さんが昨年の春に脳梗塞で倒れ、収入面だけでなく、家のこと全てがお母さんの細腕にかかっていたのです。さらに、入院されていたお父さんが昨秋に退院され、介護面での負担も重なっている状況が分かってきました。

「お母さん、だからと言って、Aさんを叩いたらダメだよ」ではなく、母親に寄り添い、追い詰められている母親の負担を少しでも取り除く支援が必要であることが分かります。訪問した支援員は、地域の障害福祉課の担当者に連絡を入れ、今後の支援の方向を検討することになりました。

この事例は「養護者からの虐待」に当たります。このような事例は、他にもあるのではないのでしょうか。自分の子どもに暴力をふるったり暴言を吐く背景には、切迫した家庭の状況があり、叩かれたからといって、支援者から「通報」されることはほとんどありません。

「通報」は、養護者（施設職員や企業も同様）に罰を与えるものではありません。事実の確認と、現状の把握から、現状を改善する支援を届けるための第一歩です。

「虐待」→「通報」→「罰」という悪いイメージを抱きがちですが、「悪い」イメージを払拭し、より適切な支援を届け、ご家族の負担を軽減するための「通報」であるとの認識が必要だと考えます。

今回で、このシリーズは終了です。みなさま、ご購入ありがとうございました。

今後も「障害者虐待」についてのお問い合わせやご要望がございましたら、ご一報下さい。

人と人をつなぎ、障害があっても  
地域で豊かな生活を支援する

# 結ゆい

第28号  
2013.3.1



障害者生活支援センター 結

発行責任者 センター長 石塚 寿幸

障害者相談支援事業所 結

0772-22-3912

与謝野町障害者相談支援事業所 結

0772-44-1566

京丹後市障害者相談支援事業所 結

0772-69-1040

## 地域生活

## サポーターズ倶楽部

福祉サービス事業所での「音楽療育」を紹介します！！



生活訓練事業 ろむ「きらり」の取り組みの中で、月1回外部講師を招いて「音楽療育」をされています。講師の白井先生は、普段ピアノの先生をされ、福祉施設でボランティア演奏会もされるなど活動化で笑顔のとても素敵なお方です。きらりのメンバーは、取り組みが始まる前から「僕、先生大好き！」と目を輝かせておられ、

練習が始まると、皆はリズムにのりのりです。約1時間、好きな歌（世界に一つだけの花・負けないで等・・・）をメロディー曲へ先生が編曲されたものにあわせて、ハンドベルや鈴などの楽器を取り入れて合唱の練習をします。2年間きらりで「音楽療育」をされて来られた先生に、音楽の魅力をお聞きすると、「声が出なかった人が、声が出るようになり、変わって行かれる様子が見られること。」「失敗しても次へつながり、やっていこうという気持ちになれる音楽の力。」と、力強くお話ししてくださったのが印象的です。練習後は、仲間の口々から「楽しい!」「元気がでる!」と言う声がかげられました。この練習の成果を発揮するのは年に1回、去年は万寿園で発表会をされました。今回の発表会は、3月の下旬に予定されています。広がれ音楽の力！！



# やすらの里

2月14日、加悦の織物加工場跡に完成した地域共生型福祉施設やすらの里の竣工式が行われました。やすらの里は、与謝郡福社会、丹後福祉応援団、京都府看護協会、よさのうみ福祉会の4つの法人が各分野の垣根を越えて、1つの屋根の下に集まり活動する新たな試みです。地域福祉の拠点としての役割が期待されています。



喫茶花音の木を基調とした落ち着いた外観。

ワークセンター花音は、障害のある人たちの働く場として2月1日に開設しました。現在は11人の利用者が高齢者施設の食事の下ごしらえや喫茶店、やすらの里敷地内の清掃等の仕事を行っています。花音では、障害のある方が地域の中で働くことで地域の人とのつながりを深め、自らの楽しみを見つけることを目的としています。



開放感のある地域交流広場の屋根付きテラス

花音の前にある足踏みマッサージの出来る健康遊歩道。



丹後福祉応援団の生活リハビリ道場。歩行訓練用プールと水中訓練用のマシンもあります。



花音の店内。天気の良い日はテラスも利用出来ます。

花音特製の豚肉とトマトのカレー。スパイスが効いてとても美味しい！



3月1日のオープンに向けて接客の練習をされていました。

